



令和2年9月号 Vol.35
情報メディア教育センター

スズメバチの巣が我が家にできた！



どうやらコガタスズメバチのようだ
人間が近づくと大きな羽音をだして垂直移動で威嚇してくる。
本によると、最初は越冬した女王バチが巣を作りはじめた
働きバチが生まれると巣をどんどん大きくしていく。
新女王バチが誕生すると、11月の終わりにハチは死んでしまうそう
だ。はたしてそれまで待てるのか、それとも殺虫剤でやつけるのか、
家族会議は続いている。



ビブリオバトルのススメ

図書委員会顧問 平賀美津雄先生

せいともすなるビブリオバトルといふものをわれもしてみんとてするなり

テニスと言えば、今となっては大坂なおみですが、少し前までは錦織圭でしたね。特に2014年に全米オープンで(もうそんな昔なんですね)ベスト8に進出した際には、日本人男子選手で92年振りなどと「〇年振り」という枕詞がよくついていました。では、ここで問題です。錦織の前にその偉業を達成した人が誰だったかご存じですか。

答えは清水善造(『欽ちゃんの週刊欽曜日』に出演していた清水善三は彼の孫…古いなあ。そんな聞いたことない。)です。日本に初めてテニスが紹介されたのは1878年で、当時ボールの製造に必要なゴムが輸入困難だったため、日本独特の軟球を用いたボールを使う「軟式」テニスが作られました。清水は、後に硬式に移りましたが、軟式を先にしたせいかわアハンドは「ぎこちない」打ち方だったそうです。

彼にとっての最大の逸話は、1920年に全英選手権大会で、前年優勝者への挑戦権決定戦の決勝に勝ち進んだことです。清水は当時世界第一位のビル・チルデンに負けたのですが、その時に戦前の「修身」の教科書にも載っていた「やわらかなボール」が放たれました。チルデンが足を滑らせて転倒した時にゆっくりとしたボールを返したのです。

このことを詳しく書いたのが、上前淳一郎著『やわらかなボール』です。しかし、そもそも筆者に清水善造について興味を持たせたのは、出張中の飛行機の中で読んだ雑誌の記事でした。1921年のデビスカップで、チルデン相手にマッチポイントを迎えていた清水のサーブをレットにしたアメリカ人線審が、死ぬ間際に母国の英雄であるチルデンを勝たせるために意図的に誤審を犯したことを告白したのです。



後は、読んでのお楽しみです。いかがでしたか、この本を読みたくありませんか。
そもそも読書は楽しいからするものですが、それで終わってしまってもったいない。読後の思いを言葉にし、他の人に伝え、自分とは違う他の人の感じ方を知り、共有することで読んだ本をさらに楽しむことができます。今日はスマホのスイッチを切って本を読んでみませんか。



新着図書ピックアップ



『捨てられる食べものたち(食品ロス問題がわかる本)』

井出留美【著】

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食べ物のこと。
食料自給率の低い日本が、大量の食品ロスを出し続けているのに、その問題に対する国民の意識がまだまだ低いように思われます。
どれだけの食品が捨てられているのか、食品ロスを減らすために、我々自身ができる事は、食品ロス問題ジャーナリストが食品ロスの現状、世界と日本の食料事情などをイラスト付きでわかりやすく解説。思いもよらない驚くような食の現実と、これからの向き合い方を考えるための入門書。



『どうぞ愛をお呼びください』

武田 綾乃【著】



男子高校生4人組がゲームの実況動画を配信するYouTuberを目指す！青臭く、瑞々しい、まさに青春そのものが描かれていて、男子の集まりって、なんでこんなにめっちゃくちゃで、突拍子もなく、なんて楽しそうなんだろうと羨ましくなります。いろいろなゲームの名前が出てきますので、YouTubeやゲーム実況が好きな人はもちろんのこと、「YouTube?何それ」というレアな人もきっとハマる本だと思います。(大塚)

『一人称単数』

村上 春樹【著】

「ぼく/僕/私」の一人称単数が語る8編が収録された短編集。いずれも「僕」や「私」が過去と現在の間を漂っているような不思議で奇妙な話。最後に収録されている表題作「一人称単数」はちょっと怖いかな。全編を通してビートルズやシューマンの『謝肉祭』等、様々なジャンルの音楽が絡んできて、行間から音楽が聞こえてきそう。カバーには『ウィズ・ザ・ビートルズ』のジャケットが小さく描かれ、扉絵にはレコードに針を落とそうとする猿(品川猿?)がいます。(大塚)



『自然の中で美しい生きものと出会う図鑑』

藤原 裕二【文・写真】



この本を見ていると、身近な空き地や公園で見かける花や蝶、美しい声の野鳥などが出てきます。あの鳥の名前はね、あの蝶の名前はねと言えると博識にみえるかもしれません。
自然の中で見られる、美しく面白い、人気のある生きものを集めた図鑑。花、蝶、野鳥から哺乳類まで、美しい自然な姿を写真で紹介するとともに、その魅力や生き方、出会い方を説明しています。

新着ピックアップは毎月、司書が「これはぜひ読んで！」と思う本を選びすぐってお届けします。
上記以外にも新着図書がたくさん届いています。カウンター前の新着コーナーをご覧ください。

「その本、もう読んだ」とか言ってみよう！ 藤崎一臣の本、読んでいこう！ vol.32

『火花』

又吉直樹 【著】



芥川賞受賞作であります。普段読書をしない人もお笑い芸人ピースの又吉直樹さんが芥川賞を受賞したことで『火花』のタイトルを知っている方も多いかと思います。映画化もされていますので、読んだことはないけど、観たことはあるって人も多いかもしれませんね。

ところで、「芥川賞」や「直木賞」よくニュースなどで目にする機会がありますが、その違いってご存知ですか？双方とも年2回（1月中旬、7月中旬）選考が行われます。「芥川賞」は、純文学作品（娯楽性よりも芸術性に重きを置いている小説）が選考対象で若手作家が受賞することが多いそうです。「直木賞」は、大衆小説作品（娯楽性よりも娯楽性に重きを置いている小説）が選考対象で中堅作家の作品が受賞することが多いそうです。

そんな、文学作品の最高峰の賞である芥川賞を受賞した『火花』は、著者の又吉さんの実体験が盛り込まれているとか、ないとか。売れない芸人・主人公の徳永が尊敬する先輩芸人・神谷とともに売れるために「笑い」について試行錯誤し追求していきます。本業がお笑い芸人だけあって本書で描かれる売れないお笑い芸人の日常は非常にリアルです。売れるために泥に塗れその日を生きていくだけで精一杯の生活。売れることを叶えた者、叶えられなかった者。後者が圧倒的に多い中、その者達を肯定する考えを記すあたり又吉さんの人間性を感じます。きっと、今テレビで観ている芸人さんも壮絶な下積み時代を過ごし、中にはその過去を笑いに変える芸人さんって本当に凄いですよね。目標に向かって挑戦すること。歳を重ねれば重ねるほど保守的になってできなくなります。もちろん、しっかりと熟考して行動する必要はありますが、今、目標とする何かがあるのなら迷わず挑戦すべきです！なんたって、みなさん若いんだもの！！



正直、バッドエンドかと読み進めていましたが、えっっ！？って終わり方です。

「笑い」の本質とは一体…。

『火花』 又吉直樹 (2015) 【第153回 芥川賞受賞】



第30回 石原 奈々子先生おすすめ

『空想科学 理科読本』 柳田 理科雄【著】

「進撃の巨人」の巨人は死ぬと蒸気を上げて消えていくが何が起きているのか、「あつ森」で軽々とジンベエザメを釣っているが、実際はどれだけの力があるか…など、アニメや漫画などの世界を科学の視点で読み解く本です。みなさんが学校で習った法則などが多く登場するので、内容にうなずきながら読めるとと思います。アニメのあり得ない現象を、科学的に考えてみると面白いものですよ！

※お薦め本はリレー連載です。次のバトンはどなたに渡るかな？

9月の開館予定

9月	
1 火	8:10-17:50
2 水	8:10-17:50
3 木	8:10-17:50
4 金	8:10-17:50
5 土	休館
6 日	休館
7 月	8:10-17:50
8 火	8:10-17:50
9 水	8:10-17:50
10 木	8:10-17:50
11 金	8:10-17:50
12 土	休館
13 日	休館
14 月	8:10-17:50
15 火	8:10-17:50
16 水	8:10-17:50
17 木	8:10-17:50
18 金	8:10-17:50
19 土	休館
20 日	休館
21 月	休館
22 火	休館
23 水	8:10-17:50
24 木	8:10-17:50
25 金	8:10-17:50
26 土	休館
27 日	休館
28 月	8:10-17:50
29 火	8:10-17:50
30 水	休館/館内整理

Emc
Navi

蔵書強化キャンペーンのご案内



2学期が始まりました。EMCの9月は、通常の新着図書に蔵書強化キャンペーンの本がプラスされ、いつもの3倍増して配架予定です。どんな本が入ってくるのか簡単に紹介しましょう。

WONDER な科学の世界を楽しもう！「科学本」がズラリ60冊

科学を読む、時代を超える良書がたくさん入ります。写真やイラストがきれいな眺めて楽しむ本、数学や科学するときの最も大切な基本姿勢を教えてくれる、科学者たちが書いた論説・エッセイなど。さらにニュートンプレス出版『ニュートン式超図解・最強に面白いシリーズ』では、「宇宙」、「量子論」、「確率」、「周期表」、「対数」など“最強に”面白い話題の本をそろえました。

すこし先をながめつつ

読んでおこう、「なるには BOOKs」



現代社会の多彩な職業について、その仕事の魅力・現実から、なり方まで幅広く紹介する「なるにはBOOKs」シリーズ。興味があること、好きなこと、得意なこと、などから将来の夢を探してみよう。中高生のための大学学部選びガイドもあります。

その他のラインナップ

- ・ 毎日の生活をハッピーに、おまけに英語の勉強もできる、みんなが大好きなスヌーピーの本。
- ・ NHKのドキュメンタリー番組「アスリートの魂」、「プロフェッショナル 仕事の流儀」を新書で読んでみよう。人生の転機を迎えたときに、参考になったり、勇気をくれるような、あなたにピッタリなエピソードに出会えます。
- ・ DVDは邦画/洋画の名作強化に加え、話題のDVDも外さないEMCらしいセレクション。

図書館からのお知らせ



- 初心者向けPower Point練習会「パワポ やろう」。受講者たがいま募集中！無料です♥
左ページの書評連載でおなじみの藤崎さんと一緒にやろう！パワポ練習会。日時は以下の通りです。詳しく知りたい方や受付はカウンターまで。
全3日間：9月28日（月）・10月5日（月）・10月26日（月） 時間：16：50～17：50
※定員7名（先着順です）。 応募〆切……9月25日（金）
- 「雑誌のバックナンバーあげます！リサイクルブックフェア」は10月開催予定です。

編集後記 「太陽のエネルギーは、大気や水の循環を発生させ、植物の光合成などを通じて多くの生命活動の源となる大切なもの。」でも今年の夏の太陽は…燃えすぎですね。涼風立つのはいつになることか。（大塚）

2学期も
よろしくお願
いします。

